

令和6年度 第3回野辺地警察署協議会 議事録

1 開催日時

令和7年2月21日（金） 10:02 ～ 11:08

2 開催場所

野辺地警察署 訓受室

3 出席者

- 協議会委員 4人
野坂幸子会長、川畑和光委員、村木亜弓委員、葛西奈栄子委員
- 警察署 7人
署長、次長、刑事生活安全課長、地域課長、交通課長、警備課長、警務会計課長代理

4 開催内容

(1) 開会

(2) 署長挨拶

(3) 議事

- ◎ 前回以降の警察署の業務の状況、以後の業務予定や取組事項、1年間の総括など
- ◎ 前回挙げた委員の意見に対する警察署の対応
- ア 警務会計課
取組課題『警察力の最大化に向けた組織づくりの推進』
 - ◎ 働きやすい職場環境の構築のための施策
 - 健康増進を兼ねた署内卓球大会の実施
 - 休暇取得促進による仕事と私生活の充実
 - 勤務時間の割り振り変更による負担軽減
 - ◎ 将来を担う若手警察官の育成
 - 警察官採用募集活動の推進
職場見学の小学生に対し、警察車両や装備品等の説明を行って職業としての魅力を伝授し、将来の採用試験受験希望者確保を図った。
 - 教養訓練の実施
 - ・ 七戸署との合同訓練の実施
 - ・ 体カテスト、体力検定の実施
 - ◎ その他
 - 野辺地警察友の会による年末年始特別警戒の激励
 - 野辺地地区犯罪被害者支援ネットワーク会議の開催
 - 警察協力者感謝状贈呈式の実施（個人4人、8団体）
- イ 刑事生活安全課
取組課題『詐欺被害抑止活動の推進』
 - ◎ 令和6年中の特殊詐欺事件の発生状況
 - ◎ 令和6年中のSNS型投資・ロマンス詐欺の発生状況
 - ◎ 令和6年中の刑法犯総数の状況
 - ◎ 抑止活動の状況
 - 闇バイト防止チラシの配布と口座売買抑止広報の実施
 - 金融機関に対する防犯診断、金融機関の合併に伴う詐欺被害防止の呼び掛け
- ウ 地域課
取組課題『地域住民の声に応える活動の推進』
 - ◎ 『110番の日』広報活動の実施
 - ◎ 通学路警戒活動の実施
新学期に合わせて、交通課と合同で実施
 - ◎ 『ミニ広報紙』、『交番・駐在所速報』コンクールの実施
県警コンクールへの応募作品選出のため署内コンクールを実施
- エ 交通課
取組課題『交通死亡事故の抑止～命とルールを守る～』
 - ◎ 管内の交通事故発生状況
 - 人身事故発生件数は前年比増、死傷者数と物件事故を含めた事故総件数は減少
 - 11月以降は降雪量の増加に伴い事故が増加
 - ◎ 主な交通事故抑止対策

- むつ署との合同警戒活動
横浜町において国道279号の警戒を合同で実施
- 信号機への積雪、着雪対策
署員への教養を実施して除雪体制を確立
- 豪雪に伴う通学路対策会議
関係団体、自治体と情報共有したほか、除雪用のスコップを通学路に配備
- 若葉小学校下校指導
学校からの要望に応じて実施

オ 警備課

取組課題『緊急事態等発生時における警備諸対策の推進』

◎ 災害対策

- 令和6年中の管内の災害発生状況
建物被害5件、人的被害なし
- 訓練状況
 - ・ 警察署代替施設移転訓練
 - ・ 原子力防災訓練
 - ・ 地震・津波対応訓練
 - ・ 防護服着脱訓練

◎ 外国人技能実習生対応

- 企業における講話を実施

カ 前回挙がった委員の意見に対する警察署の対応

◎ 横浜町におけるイベントへの対応依頼と下北縦貫道路横浜インターチェンジ開通に伴う対策について

横浜駐在所が対応し、渋滞や事故の発生はなかった。

今後も混雑が見込まれるイベント等があれば相談してほしい。

下北縦貫道路の対策については、開通時やイベント時の対応について、道路管理者や自治体とも連携して取り組んでいく。

◎ 六ヶ所村内の夜間の人通りが多い場所で反射材を配布できないか。

企業への交通安全講話の場において反射材の配布と着用の呼びかけを行ったほか、企業の宿舎にも配布活動を行った。今後も継続予定である。

(4) 質疑応答、意見等

- 卓球大会の実施は、体力の話だけでなく、風通しのいい職場づくりにもとても有効だと思う。パワハラなどが起きないように職場づくりをしてほしい。
- 七戸警察署と事案対応訓練を行った話があったが、犯罪が広域化している中で協力は当然必要なことであるし、感心した。今後はむつ署、青森署とも実施してほしい。
- 通学路への素早い対応は素晴らしい。空き家の前は除雪されていないなど、危険な箇所はまだあるが、近いところに除雪の道具を置くというのがよいと思う。
昔に比べ、保護者が子供の通学路の安全確保に関心がないように思う。もう少し見てあげてほしいと思っているところである。
- 企業への反射材の配布については、要望に対応していただき感謝している。
- 外国人について、これまでは『外国人がいると怖い』という感覚もあったのだが、これからは『働いてもらっている』という意識になってくると思う。
警察も対応が増えるかも知れないが、よろしくお願ひしたい。
- 外国人に関しては、企業のほか、六ヶ所村では農業関係でも多く来ている。研修が終わっても自国に帰るのでなければ、日本のルールもしっかり覚えてもらって互いにいい関係を築けるように、行政とも連携しながら、幅広く講話を実施してもらいたい。
- 公民館等で、企業が外国人に研修を行っているようなので、そういう機会を見つけて参加し、講話を行ってもいいのではないか。

(5) 署長総括

(6) 会長挨拶

(7) 閉会

